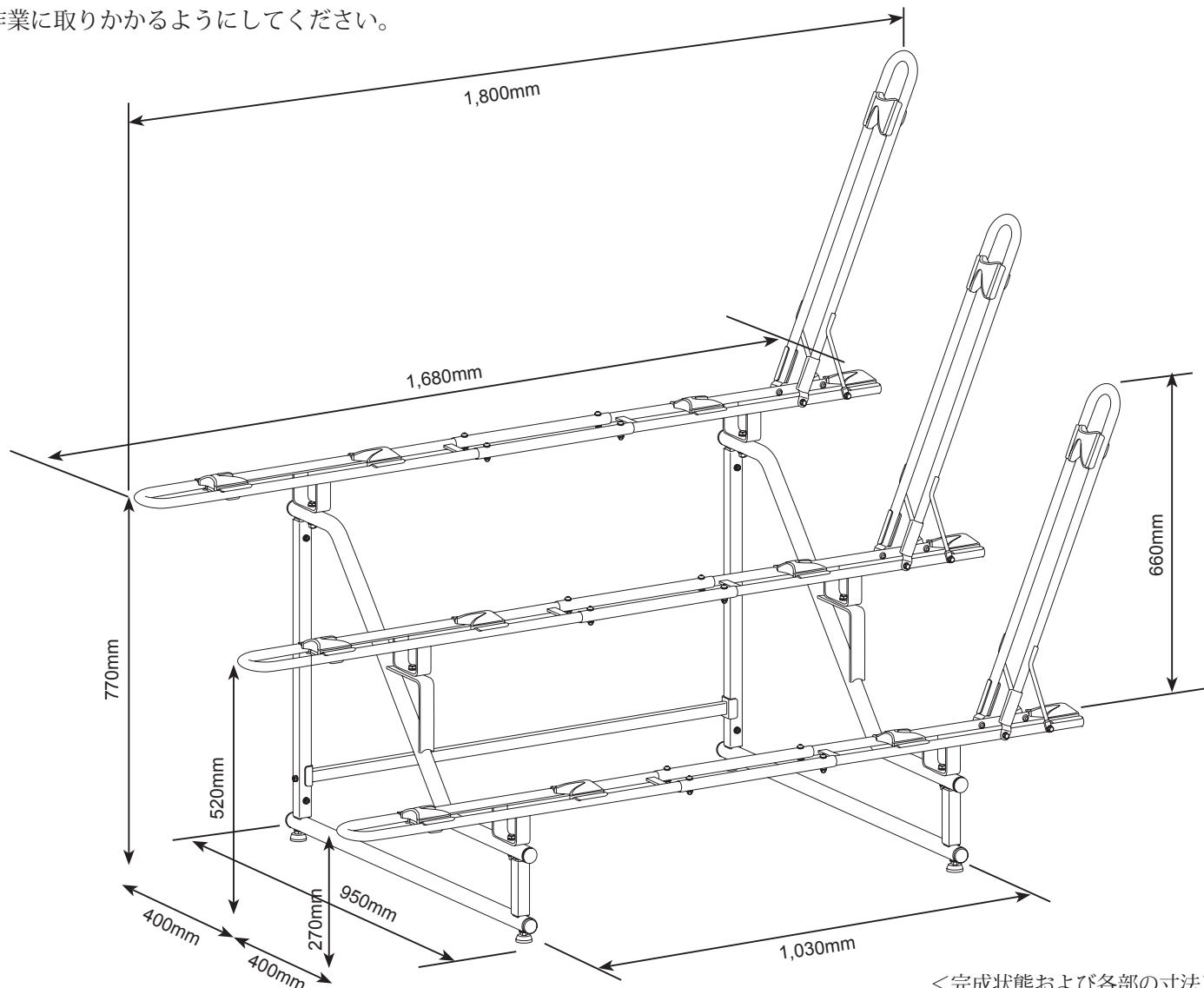


組み立ての前にこの説明書をしっかりと読み、作業内容を十分に理解してから作業に取りかかるようにしてください。



<完成状態および各部の寸法>

⚠ 注意していただきたいこと

- 電動アシスト車を含む一般的な大人向け2輪自転車専用です。ただしリカンベントなどの特殊車、幼児車などホイールベースが920mm以下のもの、タイヤ外径が320mm以下の極小径車、タイヤ幅が56mm以上の極太タイヤ装着車などは載せられません。
- 上段に自転車を搭載するため、横フレームを階段代わりにして自転車を持ったまま登ることも可能なフレーム強度としていますが、その際の自転車と体重との合計重量は最大100kgを超えないでください。またできるだけ左右いずれかの側面フレーム上を登ることをお勧めします。
- 搭載した自転車を安定して保持するために、自転車は前後輪ともタイヤ受けに正しく載せられており、さらにタイヤ押さえが正しくタイヤ上部を押さええている必要があります。左側のスライド式タイヤ受けは必ず設置する自転車個別のホイールベースに合わせて使用してください。
- 搭載する自転車の方向は基本的にどちらでも構いませんが、タイヤ押さえで正しくタイヤを押さえる必要があるため、泥よけやキャリアなどが装着された自転車では必ず前輪を右側にして搭載してください。
- EBS-3は必ず水平で平坦な場所に設置してください。傾斜地では搭載した自転車の安定を保証できません。
- EBS-3を移動させる際は、必ず自転車を下ろしてから行なってください。
- 定期的に各部の増し締めを行なってください。組み立て・調整時には正しいサイズの工具を使用してください。

問い合わせ先

製造/発売元：株式会社 箕浦 〒503-2305 岐阜県安八郡神戸町神戸1197-1
Tel (0584) 27-3131 / Fax (0584) 27-7505 / ウェブ www.minoura.jp
infodesk@minoura.jp (カスタマーサービス) / minoura@minoura.jp (営業)

組み立てのしかた

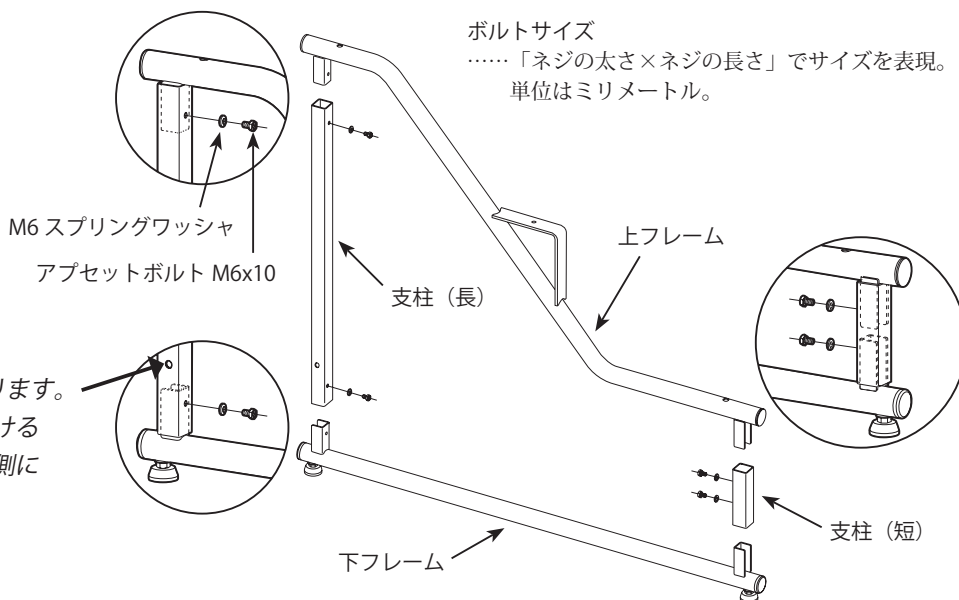
＜組み立てに必要な工具＞	13mm スパナ (メガネレンチを推奨) 2本
	10mm スパナ (メガネレンチを推奨) 1本
	M4 六角レンチ 1本

1 側面フレームを組み立てます (左右各1ヶ)

袋部品セット③にあるアプセットボルト M6x10 と M6 スプリングワッシャを使って側面フレームを組み立てます。

側面フレームは左右にひとつずつですが、どちらも完全に共通のものであり、左右の別はありません。

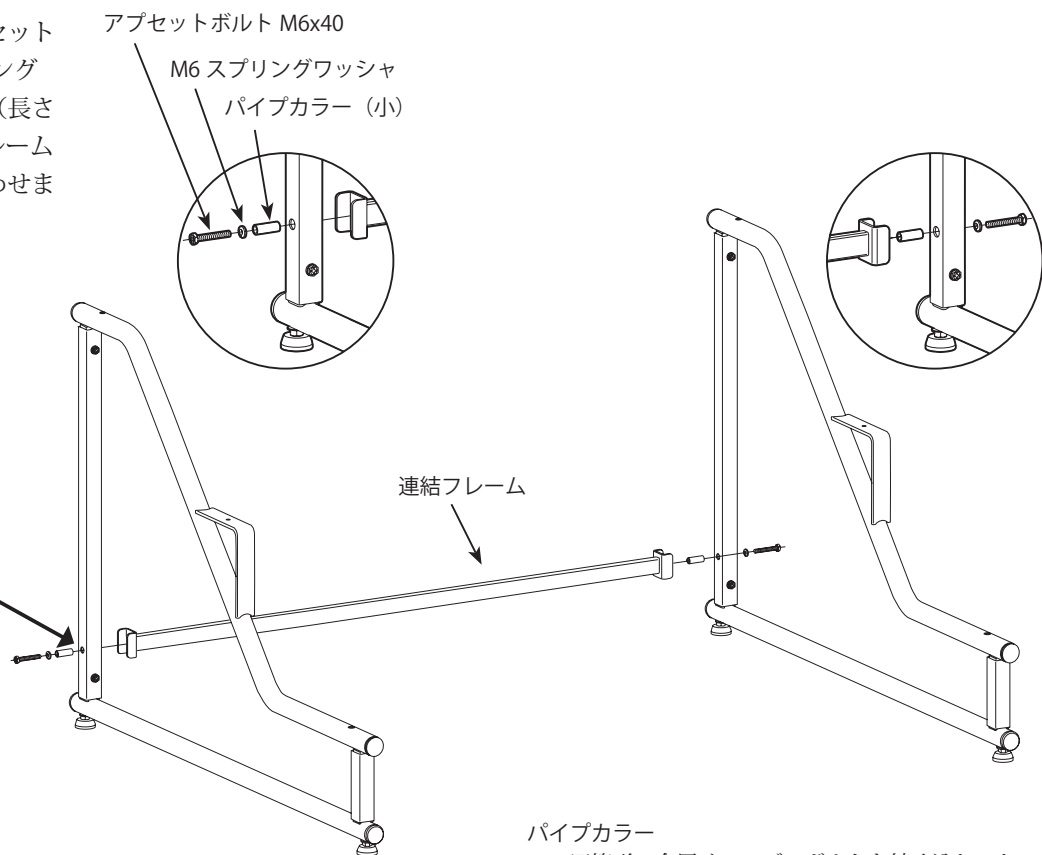
! 支柱 (長) には方向指定があります。側面に連結フレームを取り付けるための孔のあいている方を下側にしてください。



2 側面フレームを連結します

袋部品セット④にあるアプセットボルト M6x40 ・ M6 スプリングワッシャ ・ パイプカラー小 (長さ 26mm) を使って、側面フレームと連結フレームとを組み合わせます。

! 側面フレームは左右との完全に同一のため、パイプカラーを挿入する大きい方の孔はいずれも左側にあります。




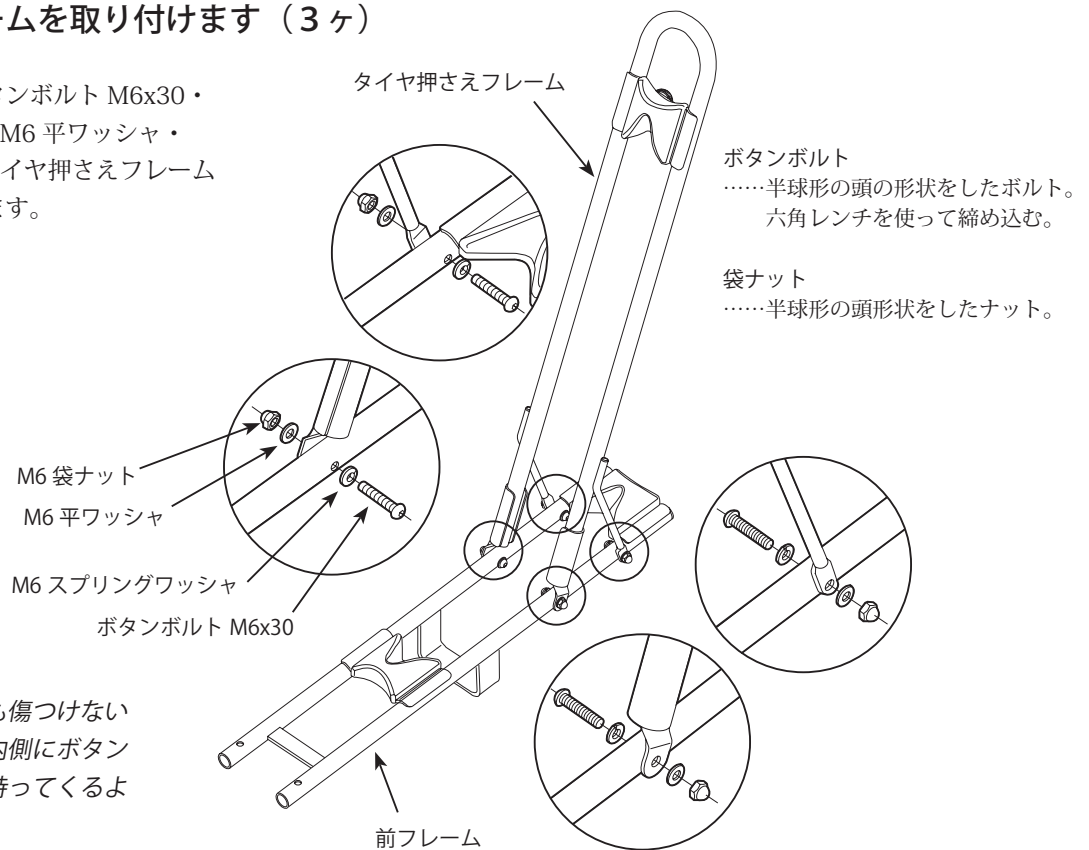
パイプカラー
.....円筒形の金属チューブ。ボルトを締め込むことでパイプが潰れていってしまうのを防ぐスペーサー。

3 タイヤ押さえフレームを取り付けます (3ヶ)

袋部品セット①にあるボタンボルト M6x30・M6 スプリングワッシャ・M6 平ワッシャ・M6 袋ナットを使って、タイヤ押さえフレームを前フレームに取り付けます。

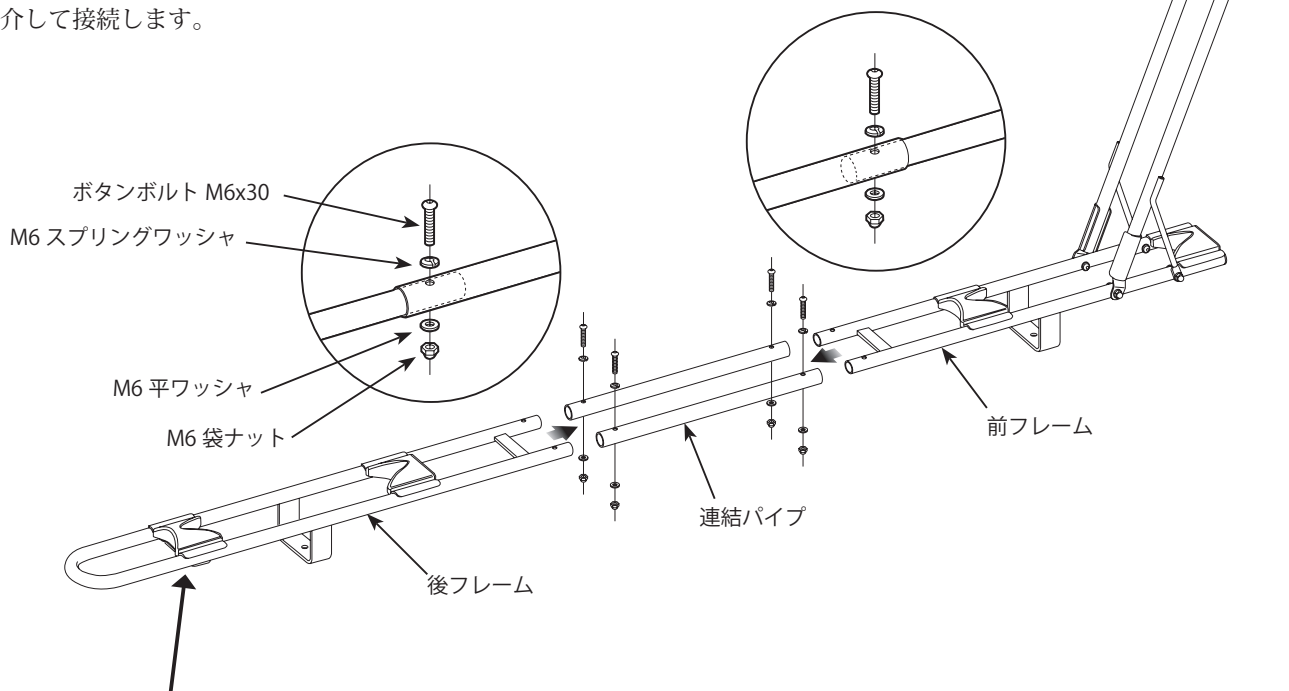
これを3つ作ります。


 タイヤに接触しても傷つけないよう、フレームの内側にボタンボルトの丸い頭を持ってくるようにします。



4 横フレームを作ります (3ヶ)

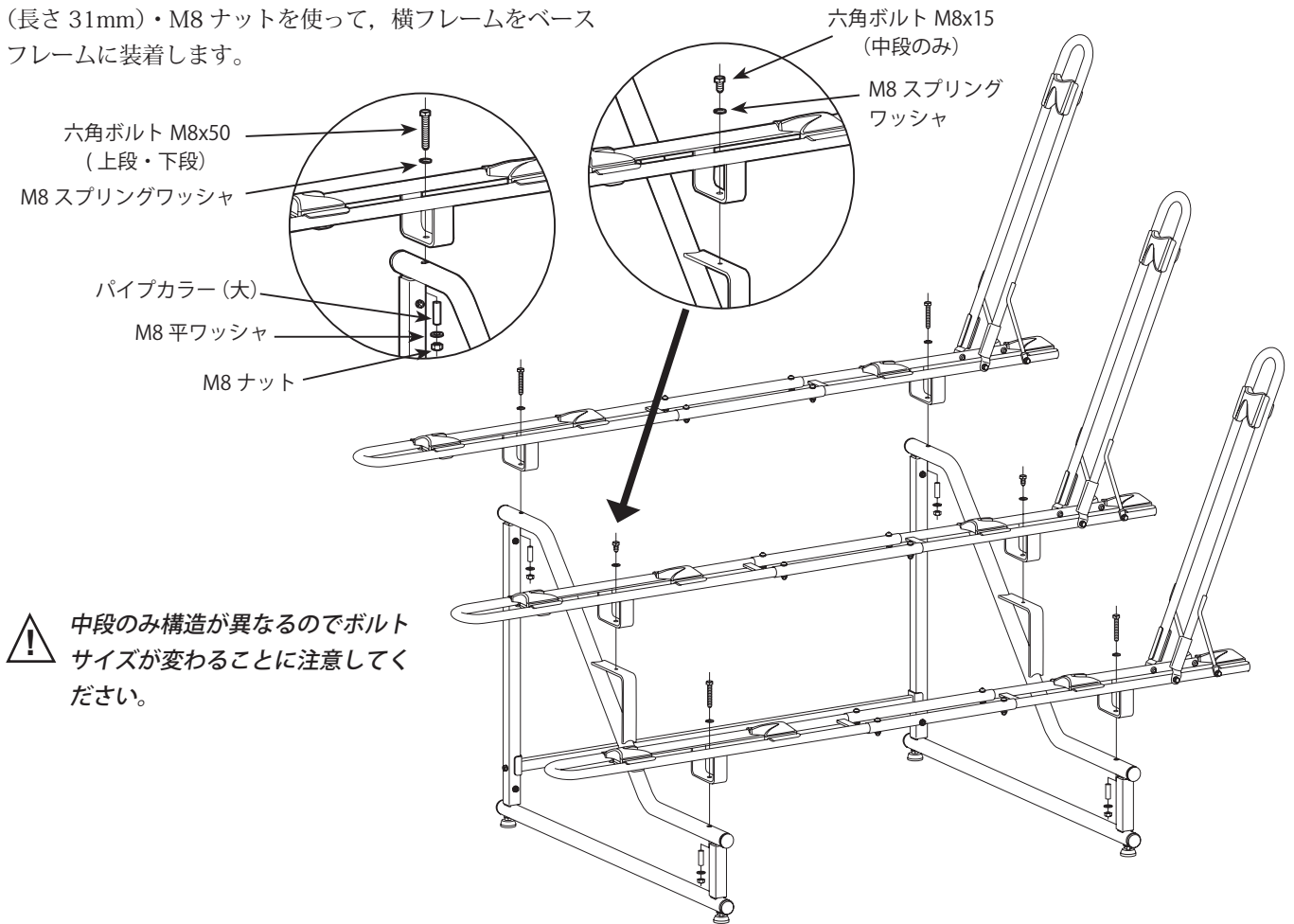
袋部品セット①にあるボタンボルト M6x30・M6 スプリングワッシャ・M6 平ワッシャ・M6 袋ナットを使って、前フレームと後フレームとを連結パイプを介して接続します。



 後輪受けは輸送中に動いて傷を付けないようにテープで仮止めしてあります。後輪受けは搭載する自転車のホイールベースに合わせてその位置を調整する必要がありますので、EBS-3を使用するときにはこのテープは剥がしてください。

5 組み立てた横フレームをベースフレームに装着します (3ヶ)

袋セット②にある六角ボルト M8x50 (中段のみ M8x15)・M8 スプリングワッシャ・M8 平ワッシャ・パイプカラー大 (長さ 31mm)・M8 ナットを使って、横フレームをベースフレームに装着します。



自転車の搭載のしかた

<注意> 自転車を右向きにして、前輪をタイヤ押さえで保持するスタイルを前提とした説明です。

- 1 まずはじめに、前フレームのタイヤ受け部分に前輪を載せます。
- 2 後ろフレームに取り付けてある後輪受けをスライドさせて、搭載する自転車にぴったり合う位置に移動させ、後輪をその上に載せます。
- 3 片手で自転車を保持したまま、裏側のノブを緩めてタイヤ押さえがタイヤに当たるまで下げます。その位置で再びノブを絞めつけて固定します。
- 4 最後に、EBS-3 上の自転車を軽く左右に揺さぶってみて、しっかりと保持されていることを確認してから離れてください。

